

事業所名

放課後等デイサービス マイカ

支援プログラム

作成日

2024年

1月

9日

法人（事業所）理念		『ひとりひとりの人生の歴史に加わり幸せを』		
支援方針		4つの【S】を大切に、子どもひとりひとりに合ったオーダーメイドの支援を目指します ①自律(Self-directed) 自ら考え行動する。自ら選択する。そのために必要な自律スキルを身に付けます ②社会的コミュニケーション(Social communication) 様々な場面での体験や日々の活動・余暇時間でひとりひとりに寄り添いながら社会的コミュニケーションを育みます ③心地いい居場所(Snuggle up space) ほっと安心できる心地よい環境を提供して子どもたちの居場所を作ります ④笑顔(Smile) 何より笑顔が大切。楽しい気持ちが大切。子どもたちのキラキラの笑顔を作ります		
営業時間		平日：10：00～19：00 祝日・長期：8：30～17：30	送迎実施の有無	あり
支 援 内 容				
本人支援	健康・生活	健康状態の維持や改善を図り、健康な心と体を育む支援を行います 日々の過ごしでの悩みや困りごとを職員と一緒に状況を整理し、解決の糸口を身に付ける事で、精神面の安定を図ります 食事・睡眠・排泄・着替えなどの基本的な生活スキルの獲得をし、将来に向けて子ども自身でよりよい生活が送れるように支援を行います		
	運動・感覚	学習時や、集まりの際に正しい姿勢の保持を伝えたり、公園や散歩、感覚統合などの活動を通して運動機能や筋肉の向上を行います 制作や調理レクを行い、手指の巧緻性を向上します サーキットを行い空間と自分の身体を把握したり、身体の状態を把握したりしボディイメージや器用さを獲得します		
	認知・行動	視覚・聴覚・触覚などの感覚を使って、認知機能の発達を向上させます 余暇時間での遊び(スライム、小麦粉粘土、玩具、絵本、職員やお友達との関わり遊びなど)を通して空間や物の概念形成を促し、適切な距離感や行動の獲得を支援します		
	言語 コミュニケーション	子どもひとりひとりの学習スタイルを考えて要求・模倣・注目・追視など、様々なコミュニケーション手段を活用し、本人に合った学びを提供します 一日の過ごしを、終わりの会で振り返りとして行い、自ら考え発表し言語を表出する機会づくりをします 応用行動分析を用いて、子どものマイナスイ行動を適切なコミュニケーションに置き換え、解決につなげます		
	人間関係 社会性	集団活動や余暇時間の中で、お友達や職員との信頼関係の築き方を支援します SSTを通して、社会のルールやマナーを知ったり、相手の気持ちを考えたり自分の気持ちのコントロール方法を学び、社会に適應するために必要なスキルを獲得します 順番活動や買い物学習、公共施設を使つての外出活動を通し、社会性を身に付けて自立に向けた実践的な体験を提供します		
家族支援		家族の困り感や悩みを一緒に考え、解決に向けた一手を協力して行います 保護者同士や職員との交流会を開き、子どもの発達段階や特性の理解を共有したり、進路先などの将来に向けた情報を交流を通して行います	移行支援	地域の公園や、電車・バスなどの公共機関を活用しインクルージョンに向けた取組を行います。事業所で獲得した行動を、他の場面でも同様の行動が取れる様、般化を目指します
地域支援・地域連携		学童や学校へ訪問し、子どもの心身の状況や生活の環境などの情報共有をし連携を図ります。子どもを取り巻く関係機関と密に連携を行い、最善の利益の提供を目指します	職員の質の向上	日々の支援の振り返り時間を設け、実践的な支援力が身に付く環境を設定しています。年一回の外部の研修を設けて、支援だけでなく様々なスキルの獲得を行っています。年4回の個別面談を実施しています
主な行事等		初詣 正月遊び 餅つき 節分 ひな祭り制作 卒業・入学パーティ お花見 こいのほり制作 七夕 夏祭り 敬老の日制作 ハロウィン クリスマス会 外出活動(美術館、電車・バス、博物館、音楽コンサート、消防署、水族館など)		